

アルコール性肝疾患患者の治療

アルコール性肝疾患（ALD）患者は飲酒をやめることで生存率が改善することが知られていますが、米・University of Michigan の研究グループは、多くのALD患者は飲酒がやめられないにもかかわらず、禁酒治療を受けようとしなない実態を *J Subst Abuse Treat* 誌に報告しました。



度重なる過度の飲酒により肝硬変に至った場合でも、禁酒という治療介入は生存率の改善に最も効果的であることが証明されています。



実際の治療には、1対1のカウンセリング、入院によるリハビリテーション、アルコール離脱のための薬物治療、認知行動療法、動機付け療法などの選択肢があります。